



先の見えないコロナ禍に想う

今日、コロナ感染症は第4波に入ってしまった。このことは「感染対策分科会・尾身茂会長」も4月14日の記者会見において「第4波に入っていることは間違いない」と明言したことにより事実となりました。政府関係者の言っている感染拡大傾向などとの生易しいものではありません。何故こんなことになってしまったのでしょうか。

現在の感染症蔓延を招いた責任のかなりの要因に政府の不十分な感染症対策に由来するところ大です。当時の安倍首相は昨年3月には超緊急措置の全国一斉休校というバカげた対応をしたり、4月には緊急事態宣言という非常事態宣言をしたかと思えば、GOTOトラベルという感染症の全国蔓延策を取りました。ワクチンの対応もOECD加盟国最低の接種率です。4月14日の三豊市ワクチン接種希望受付は一時間半足らずで終了となるなど市民の関心の強さがうかがわれました。住民のコロナ禍に対する恐怖に比べられない政府のワクチン対応の遅れは深刻です。ウイルスはどんどん変化し狂暴となっています。

人の命よりも経済優先、オリンピック開催優先の失政のつけを私達に押し付けられたのではたまりません。政府の施策・対応はまさにゴテゴテで全くの無能無策ぶりです。迷惑を被るのは国民です。今は、人の命を守ることを最優先にする対応を政府に強く求めます。

-2021年4月15日 篠原清・記（日本勤労協幹事）

ブロック・県連・市町地域から

■三豊市勤労協（香川県）

第16回定期総会 を開催しました

コロナ禍のなか会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。昨年は緊急事態宣言発令もあり総会の開催ができずに幹事会で代行せざるを得ませんでした。今年もコロナ感染症は収まっていますがコロナ対策を十分に、5月8日（土）9時30分～11時に、豊中町農村環境改善センター・研修室にて開催しました。



三豊市勤労協定期総会と合わせ研修会を実施

総会の記念講演に「沖縄問題研修会」を三豊市・豊中町農改センターにおいて開催しました。この沖縄問題の研修会は昨年より計画していたのですがコロナ禍のなか開催することが出来ていませんでした。実施した5月初旬は少しコロナ禍が落ち着いていましたので開催の運びとなりました。会場管理者の市役所の対応として、研修会単独では会場使用許可は困難だが毎年開催の定例総会に付属する開催とのことで会場使用が認められました。当然コロナ対策として密を避けること、消毒・検温の徹底・総会と合わせて全体を2時間程度とすることなどの条件付きでの開催となりました。



沖縄の置かれた理不尽性に驚いた

23名の参加者の内、沖縄平和行進や各種交流会などに参加した経験のある仲間は数人しかいない沖縄問題素人集団には沖縄の現実は大変なものであることを知らされました。

沖縄に異常に集中する米軍基地「米軍基地のなかに沖縄がある状態」に参加者は驚きました。また軍事基地が集中するが故の各種の犯罪の横行に対しても極めて不平等な「日米地位協定」により刑事罰すら十分に対応できない現実にも驚きました。



辺野古基地建設は本当に普天間基地の代わりか？

沖縄の大多数の人が反対している普天間基地の代替のように入れ強行されている辺野古新基地建設については、今日の米軍の動きから辺野古新基地が新設されても普天間基地は本当に閉鎖されるのかの疑問も出されました。

軍隊は住民の命は守らない、守るのは国体(国の体制、権力者の機構)のみ

沖縄戦の教訓は「軍隊は決して住民の命を守らないこと」でした。住民が先に避難をしていた「ガマ」に軍隊が隠れ場所にするために住民を米軍の矢面に放り出したり、赤ちゃんが泣くと米軍に見つかるので母親に赤ちゃんを殺させるなど、軍隊は住民の生命を守らなかったことが沖縄戦では多くありました。国民の命と財産を守るための軍隊は存在しないことの証明となっているのではないかとの提起もありました。

今回講師を担当していただいた、船川均氏は元庵治町議をされていた方であり数十年来毎月のように沖縄に通い詰めている沖縄問題には大変詳しい先生でしたので多くの体験を聞くことが出来ました。しかし講師の先生もここ一年数カ月はコロナ禍のために沖縄に行けずに大変苦しい思いをしているとの気持ちも出されていたことに強く感銘を受けました。

会場の都合で映像での説明が出来ずに講師の先生にも参加者にも大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

(2021年7月13日 三豊市勤労協会会長 篠原清記)

カーブミラー清掃を実施しました

昨年12月5日(日)9時から15人の会員がカーブミラー清掃をしました。今年は276本を磨きました。

不良箇所点検も行い、自治会を通じての改善にも成果が出るなど地域の皆さんからも期待されている行動となっています。

今回は市職会員が鳥インフル対策で急遽参加できませんでしたが、新しく加盟した神島化学労組会員の参加があり有意義な活動となりました。



道路環境整備にも成果

今年1月中頃豊中町桑山地区会員の方からの要望をうけ、市道の停止線の表示改善をしました。現場(写真参照)は近年マスコミで有名となった「天空の鳥居」へ通ずる道路です。近くには採石場もありダンプカーと他県ナンバーの車が頻繁に行きかう危険な三叉路です。要望を受けすぐに勤労協会長は現場写真に基づいて三豊警察署交通課と協議、2月中頃に改善することができ、該当地域の方々から大変感謝されました。



(三豊市勤協ニュース No.66 より)

■ 静岡市勤労協 (静岡県)

「労使トラブル法律相談 Q&A」を ご活用ください

静岡市勤労協では毎月1回、無料法律・生活相談を開催しています。

また、静岡県勤労協のホームページでは、静岡県・労働雇用政策課作成の「労使トラブル法律相談 Q&A」の冊子閲覧ができるよう、リンクを張らせてもらいました。

どうぞ、ご覧いただき、労使間トラブルの未然防止、早期解決にお役立てください。

検索⇒

静岡県勤労協

(<http://kinrokyo.net/shizuoka/>)

サイドバー「無料法律生活相談」

⇒静岡県・労働雇用政策課作成の「労使トラブル法律相談 Q&A」
の中の URL をクリック

⇒冊子の PDF 版が閲覧できます

(<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-210/bookdata.html#QA>)



(静岡県勤労協事務局)

◆ ミニコラム ◆

静岡県熱海市伊豆山の大規模土石流の起点となった土地に不適切な盛り土をした神奈川県小田原市の不動産管理会社（清算）が、現在の所有者と交わした「盛り土の中にある産業廃棄物を片付ける」との趣旨の契約を守らず、土中に産廃を残したまま引き渡していたことが、複数の関係者への取材で分かった。現所有者側が熱海市の指示で、埋まっていた自動車などを撤去した。不動産管理会社が不適切行為を繰り返し、県と市から再三にわたり行政指導を受けていたことが既に判明。この会社の元幹部は、一連の手続きに問題はなかったとの認識を示している。県と市は行政の対応を含め、詳しい経緯を調べている。

県などによると、不動産管理会社は2006年9月に問題の土地を取得。2007年3月に市へ造成計画を届け出て、同四月に受理された。ところが直後に、県の許可を得ていない部分で木を伐採するなどして面積を拡大。その後も盛り土に産廃や木くずを埋めるなどの問題行為を続け、土砂搬入の中止要請にも応じないまま2011年2月、現所有者の男性に土地を売却した。その際「産廃を処分する」との約束は守られず、ほぼそのままの状態だったとみられる。男性は当時「片付けてくれないから困っている」と周囲にこぼしていた。既に周辺の土地も取得しており、問題の土地と併せ、より広い面積をまとめて整備する計画だった。

（中日新聞 2021.07.19 より）



ATM!

Rousekin

はたらくあなたのいちばんそばに。

ろうきんのキャッシュカードなら
コンビニなどのいろんな
提携ATMで便利に使えます

ろうきんのキャッシュカードでお引出しができる場所はコチラ*

セブン銀行 SEVEN BANK
ローソン銀行 LAWSON BANK
イオン銀行 Aeon Bank
ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行
VIEW ALTTE

ATMお引出し手数料が
お得になる場合があります。

さらに全国のMICS加盟金融機関（銀行・信用金庫等）で使えて
ATMお引出し手数料を即時キャッシュバック!

こくみん共済 NEWS

みんなが育てた
安心のネットワーク
それが「こくみん共済 coop」です

戦後まもないころ。ひとたび火災が起きると生活が崩壊する時代。
そこで職場の仲間たちが少しずつお金を出し合い、
お互いをたすけあう火災共済をつくったことが、
こくみん共済 coop のはじまりです。
その後、共済の種類を増やし、さまざまな社会課題に向き合いながら、
生活協同組合として組合員の皆さんと活動を広げてきました。
今では**加入件数3,052万件**、
1年間にお支払いした**共済金は3,337億円**と
大きなたすけあいの輪に発展しています。

※2020年5月末現在

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は豊利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

公式キャラクター ビットくん